

## 【2019 年度検証結果】

### 「顧客本位の業務運営に関する取組方針」に対する取組状況の検証

弊社の「顧客本位の業務運営に関する取組方針」（以下「本取組方針」といいます）に対する取組状況（2019年9月末）の検証結果は下記の通りです。

#### 1. 顧客へのサービスおよび情報の提供

ファンドの組成・運用状況は、定期的開催する投資運用会議にて確認・検証を継続しました。結果として、全てのファンドにおいて年度当初の計画と大きな乖離が生じることなく運用することができました。（下記「弊社の自主的な KPI」を参照願います。）

また、各ファンドの毎年度の運用評価は、投資委員会へ報告を行った上で、書面にて顧客に報告しています。

#### 2. 利益相反の管理

直近1年間（2018年10月1日から2019年9月30日まで）で利益相反取引に該当する取引はありませんでしたが、重要な取引については社内規定に則り、コンプライアンス委員会の審査および投資委員会の協議を経て、取締役会の承認を得た上で、取引を行いました。

#### 3. 手数料体系の明示

直近1年間（2018年10月1日から2019年9月30日まで）に新たに締結したアセットマネジメント契約あるいは私募集約はありますが、顧客が負担する手数料・費用は全て契約書に料率または金額を明記しています。

#### 4. 社員研修・人事評価

定期的な社員研修・教育の場として、平均して2ヶ月に1回の頻度で全社員を対象とした社内コンプライアンスセミナーを開催しました。

また、資格取得者に対する支援金および報奨金制度を設け、社員の資格取得の促進とスキルアップを図っています。2018年度は1名が公認不動産コンサルティングマスター、1名が不動産証券化協会認定マスターの資格を取得しました。

上記検証の結果、現行の本取組方針を継続することとしました。

### 【弊社の自主的な KPI】

#### (1) 配当達成率平均：109.5%

各ファンドにおいて年度当初に計画した配当額に対する、運用の結果達成した配当額の割合を加重平均したものです。

なお、各ファンドの配当達成率は最大 125.5%、最小 96.1%です。

計算式：AVERAGE（（各ファンドの達成配当額）÷（各ファンドの計画配当額）×100）

#### (2) NOI 達成率平均：102.7%

各ファンドにおいて年度当初に計画した NOI（信託報酬は含みません。）に対する、運用の結果達成した NOI の割合を加重平均したものです。

なお、各ファンドの NOI 達成率は最大 110.3%、最小 90.3%です。

計算式：AVERAGE（（各ファンドの達成 NOI）÷（各ファンドの計画 NOI）×100）

※KPI の算出においては、弊社が AM 業務を受託している不動産私募ファンド（SPC）の、過去1年間において決算期末を迎えた年度を対象としています。

以上